

1



令和3年度 群馬県立太田高校 3学年保護者会

令和3年10月14日

群馬県立太田高等学校 進路指導部 今井 輝夫

2

①令和3年度大学入試概況

②令和4年度大学入試について

③第一志望合格に向けて

①令和3年度大学入試概況

●受験人口の減少

- ・18歳人口は約2.6万人減少
- ・前年度の安全志向により、既卒生の減少

●大学入学共通テスト初年度

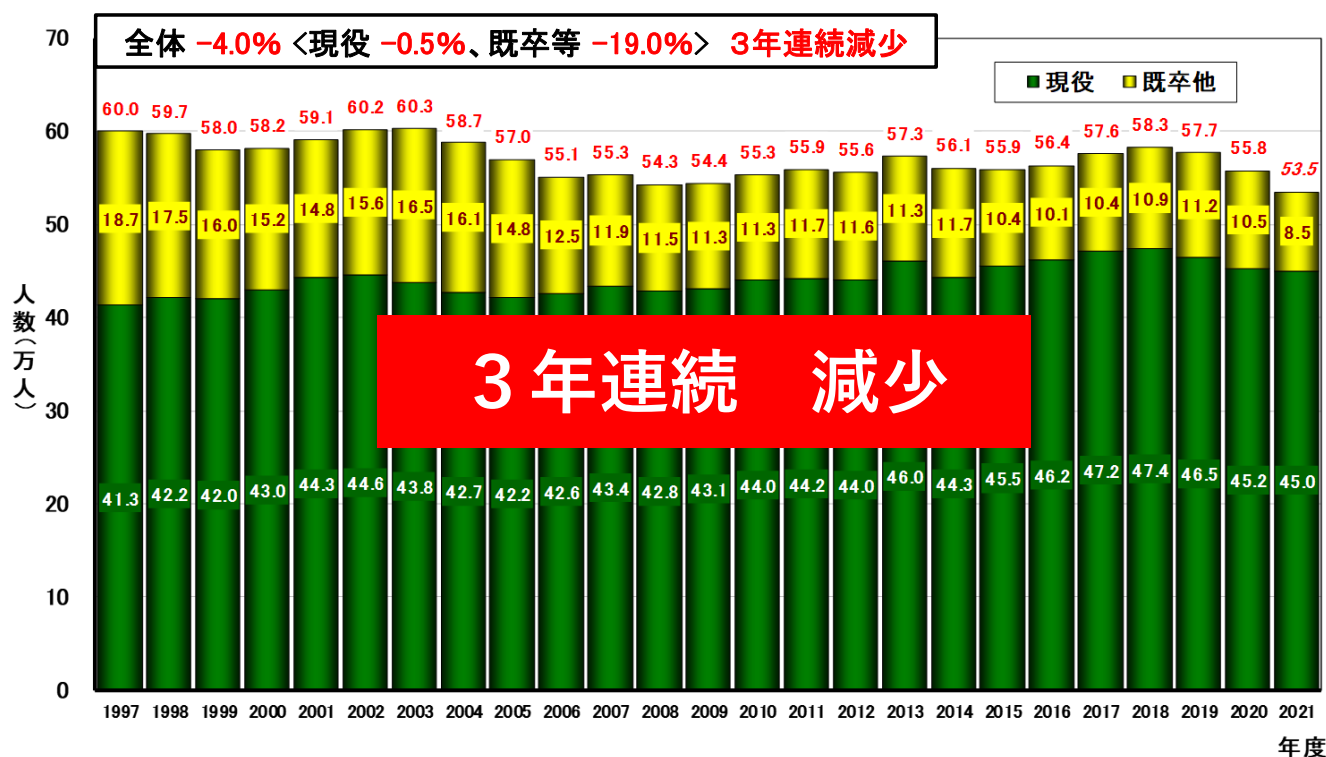
- ・大学入試センター試験からの入試改革
- ・国公立大、私立大入試制度も大きく変更

●新型コロナウイルス感染拡大

- ・緊急事態宣言、自宅待機、休校の中での受験勉強
- ・新しい生活様式の中での大学入試実施
- ・共通テストの日程追加、個別試験中止の大学
主体性評価の見送り、オンライン面接など

①令和3年度大学入試概況

◆大学入学共通テスト/大学入試センター試験



①令和3年度大学入試概況

◆大学入学共通テスト/大学入試センター試験

・志願者数は3年連続減少→欠席率増加

・現役生も3年連続減少(微減)

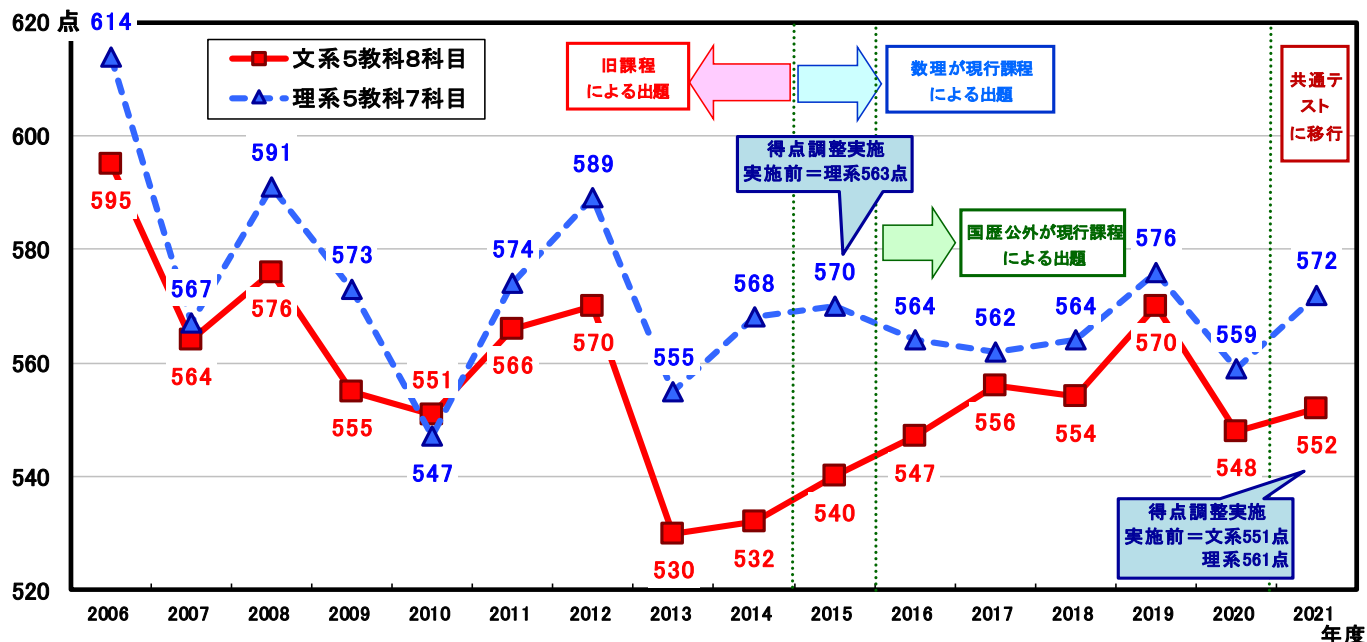
・既卒生等も2年連続減少(大幅減少)

※ 浪人や不本意入学者の再チャレンジが減った。

それでも再受験生は2万人を上回る。

①令和3年度大学入試概況

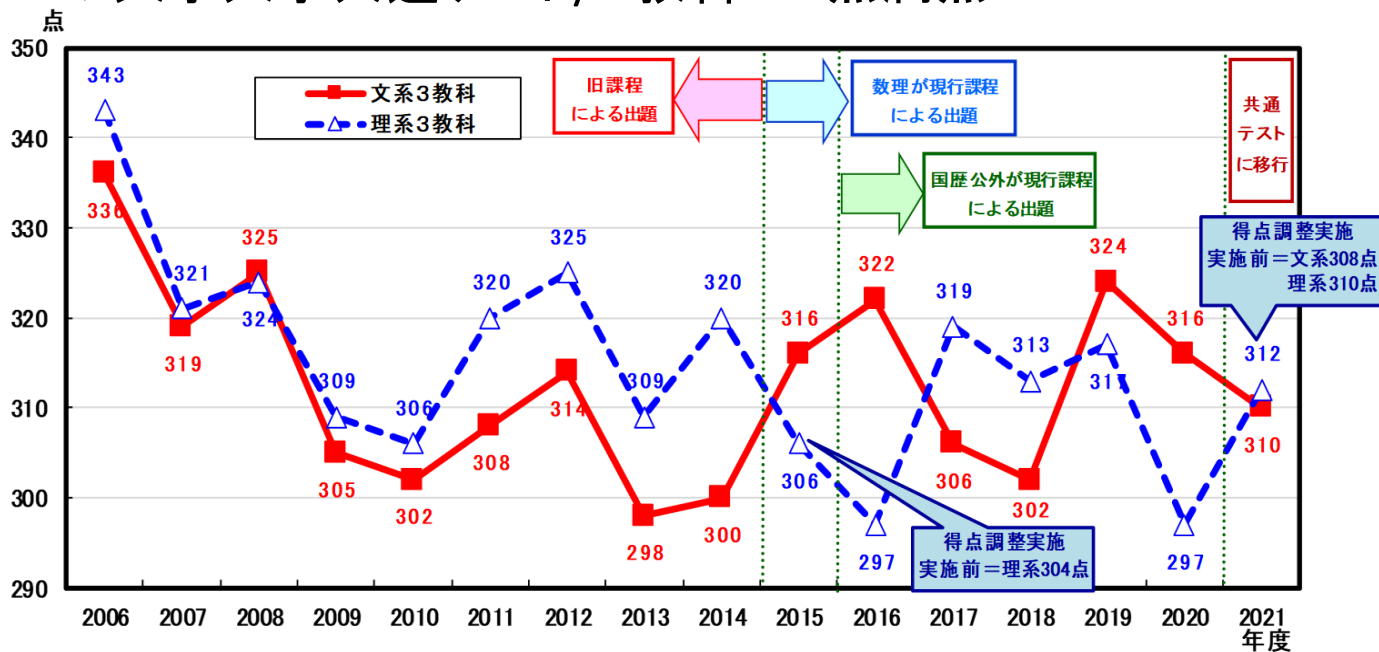
◆大学入学共通テスト/5教科900点満点



文系、理系 ともに平均点UP

①令和3年度大学入試概況

◆大学入学共通テスト/3教科500点満点



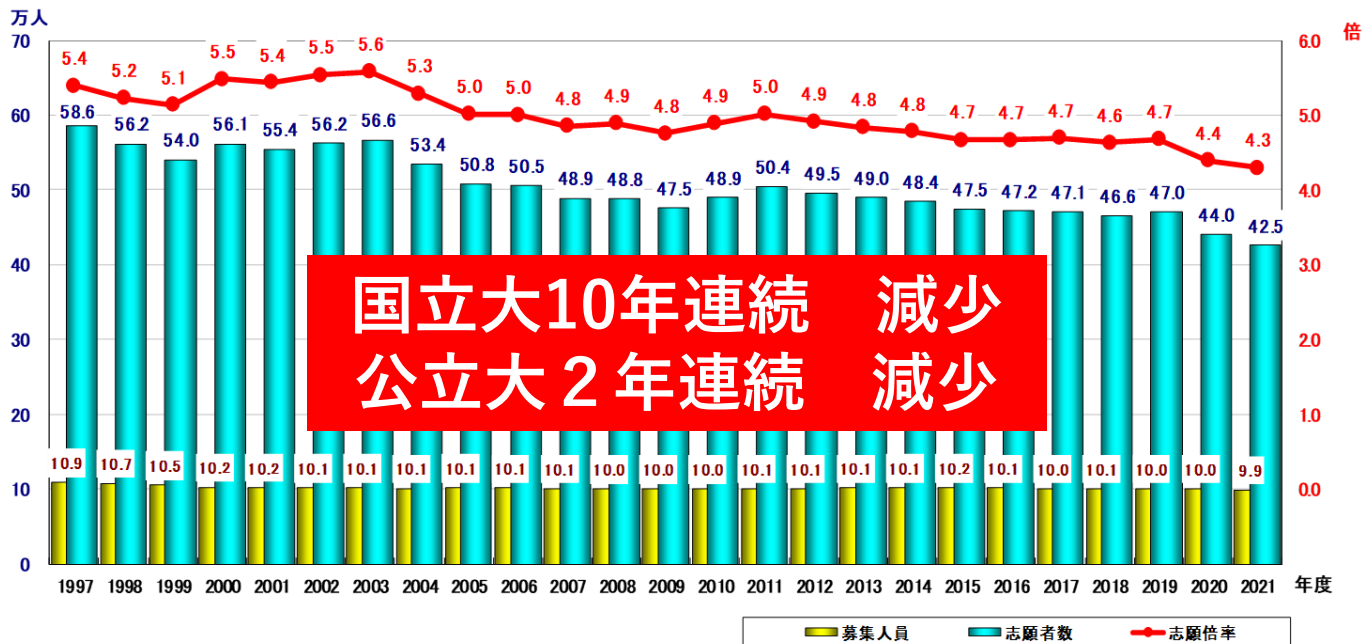
文系(英国歴):平均点DOWN

理系(英数理):平均点UP

※予備校自己採点集計で推定した500点満点での予想平均点推移

①令和3年度大学入試概況

◆国公立大学/志願者数推移



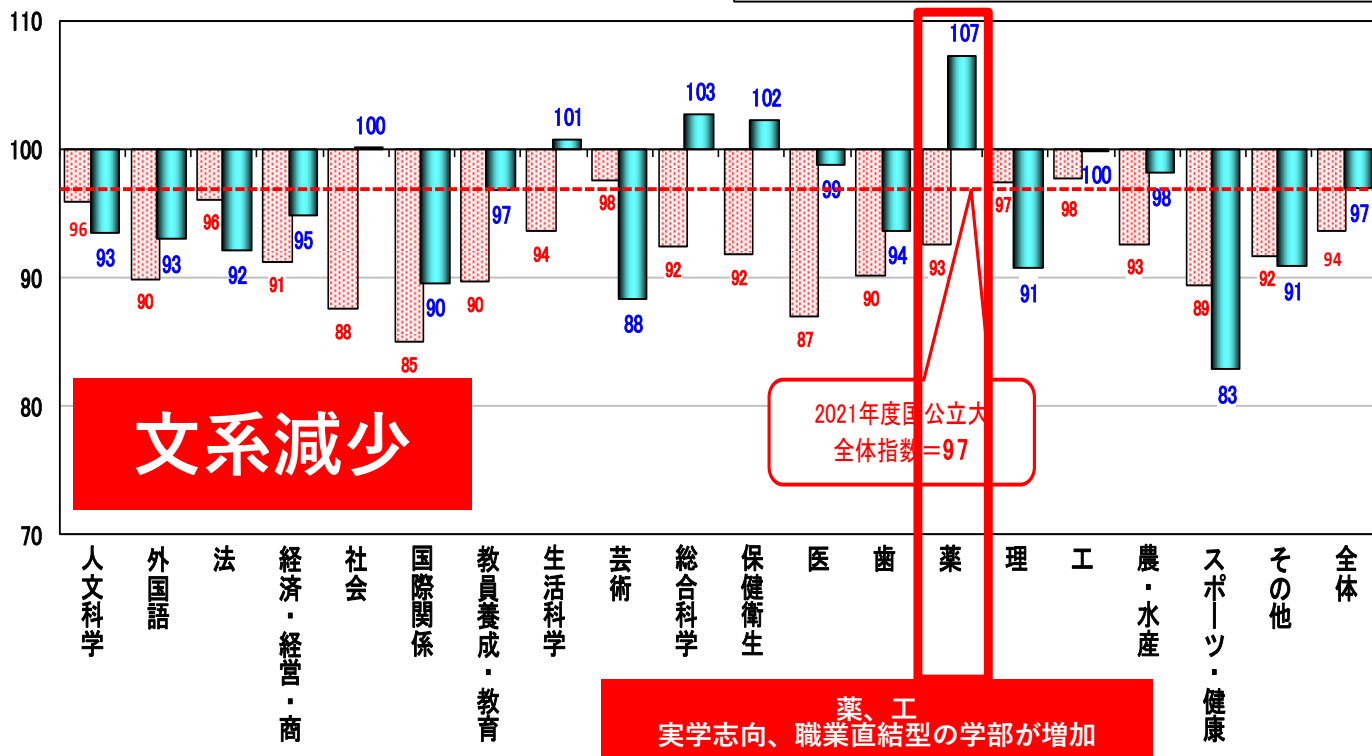
- 減少要因
- ① 共通テスト志願者数の減少に加えて、共通テストの欠席率が高く、受験者数が減少
 - ② コロナ禍で長距離移動を敬遠し、都市部から地方への志願者の減少
 - ③ 私立文系3教科型の平均点ダウンによる私立文系型募集単位の志願者数減少

①令和3年度大学入試概況

◆国公立大学/系統別志願状況

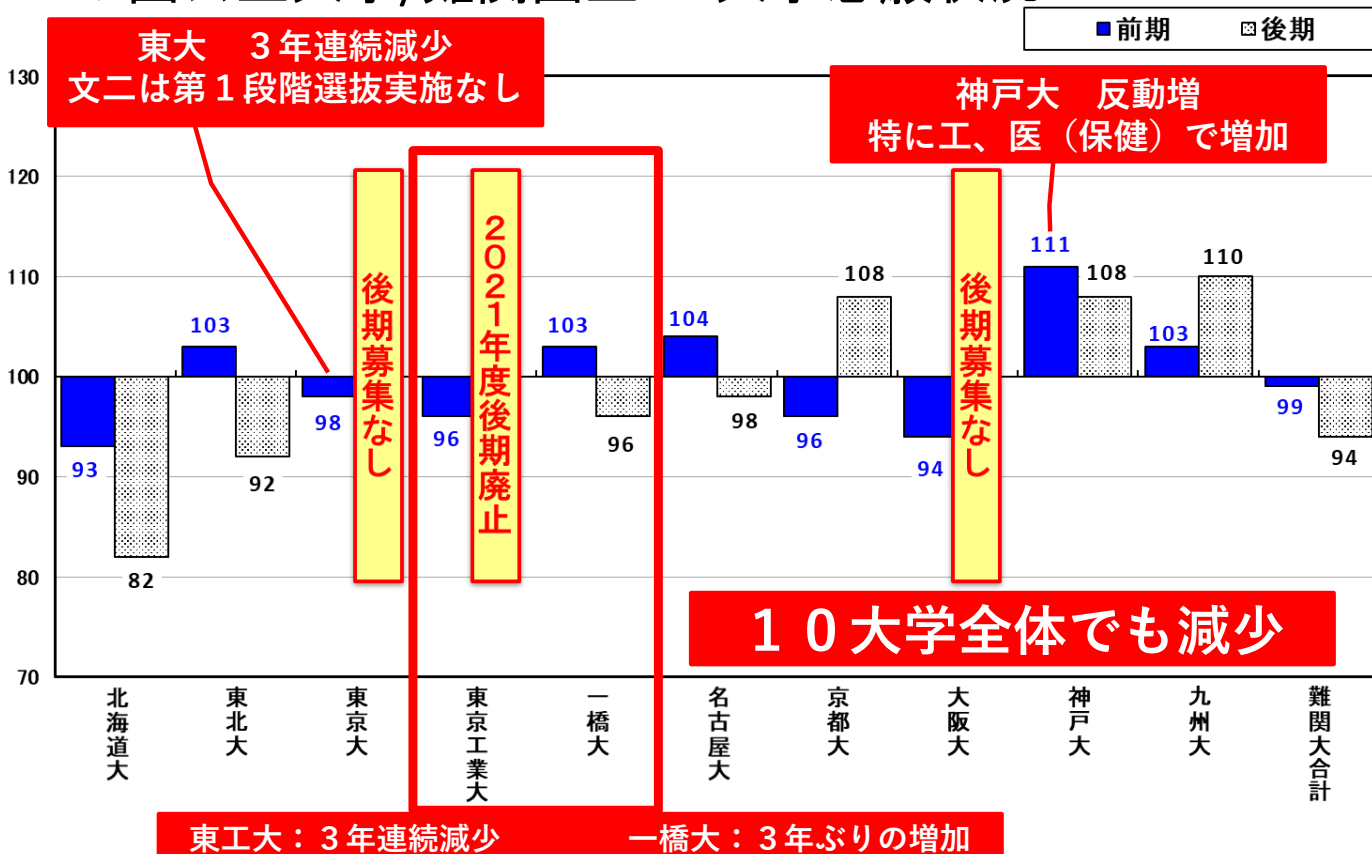
※前年度を100とする指数

※「その他」…北海道大・総合入試、金沢大・一括入試



①令和3年度大学入試概況

◆国公立大学/難関国立10大学志願状況

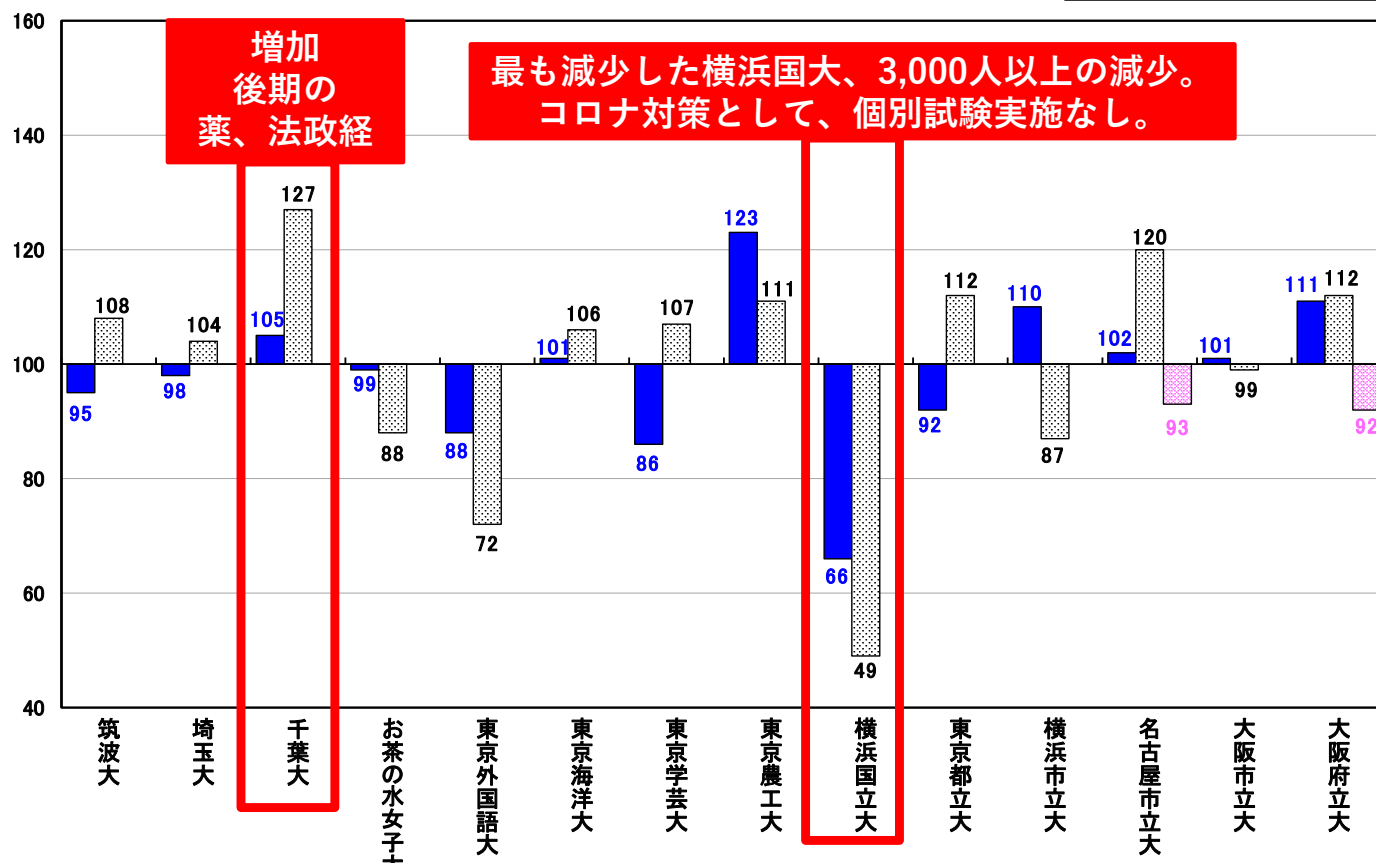


11

①令和3年度大学入試概況

◆国公立大学/主要国公立大学志願状況

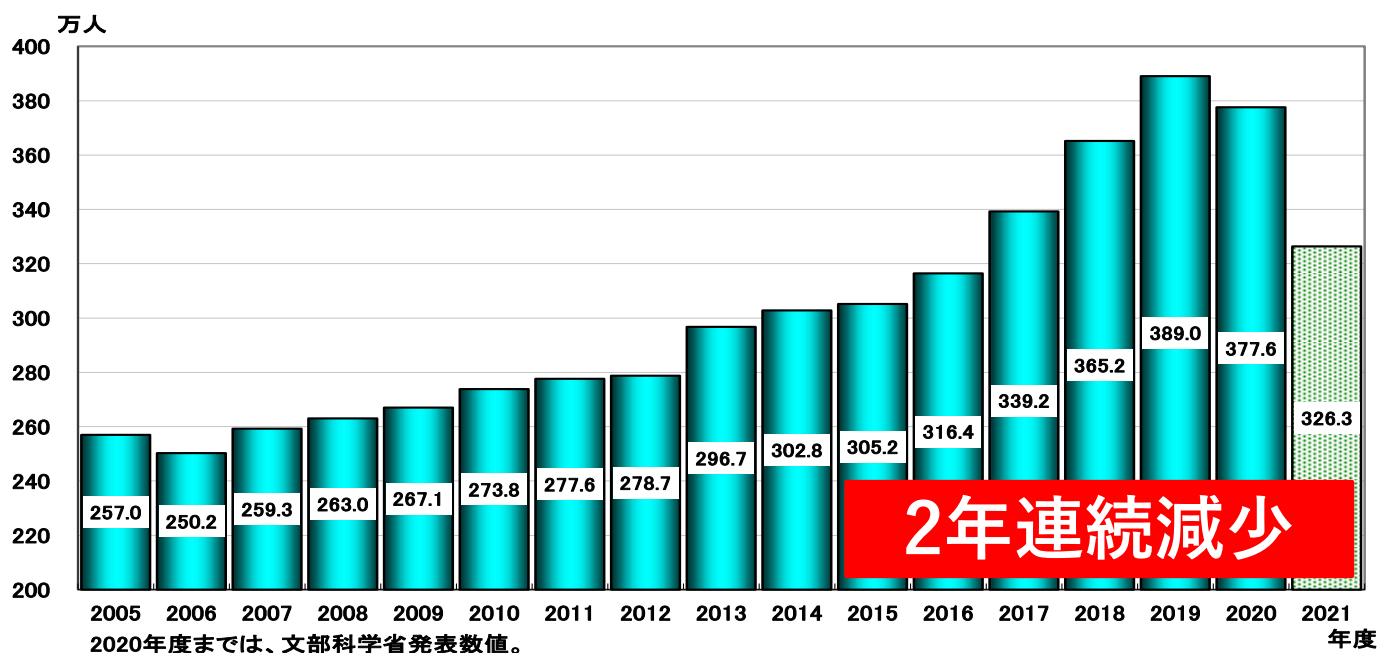
■前期 □後期 □中期



12

①令和3年度大学入試概況

◆私立大学/一般選抜志願者数推移



■2021年度確定志願者数予測(4月現在 268大学集計値による予測)
約326万人(対前年度指数86) 2年連続減少へ

①令和3年度大学入試概況

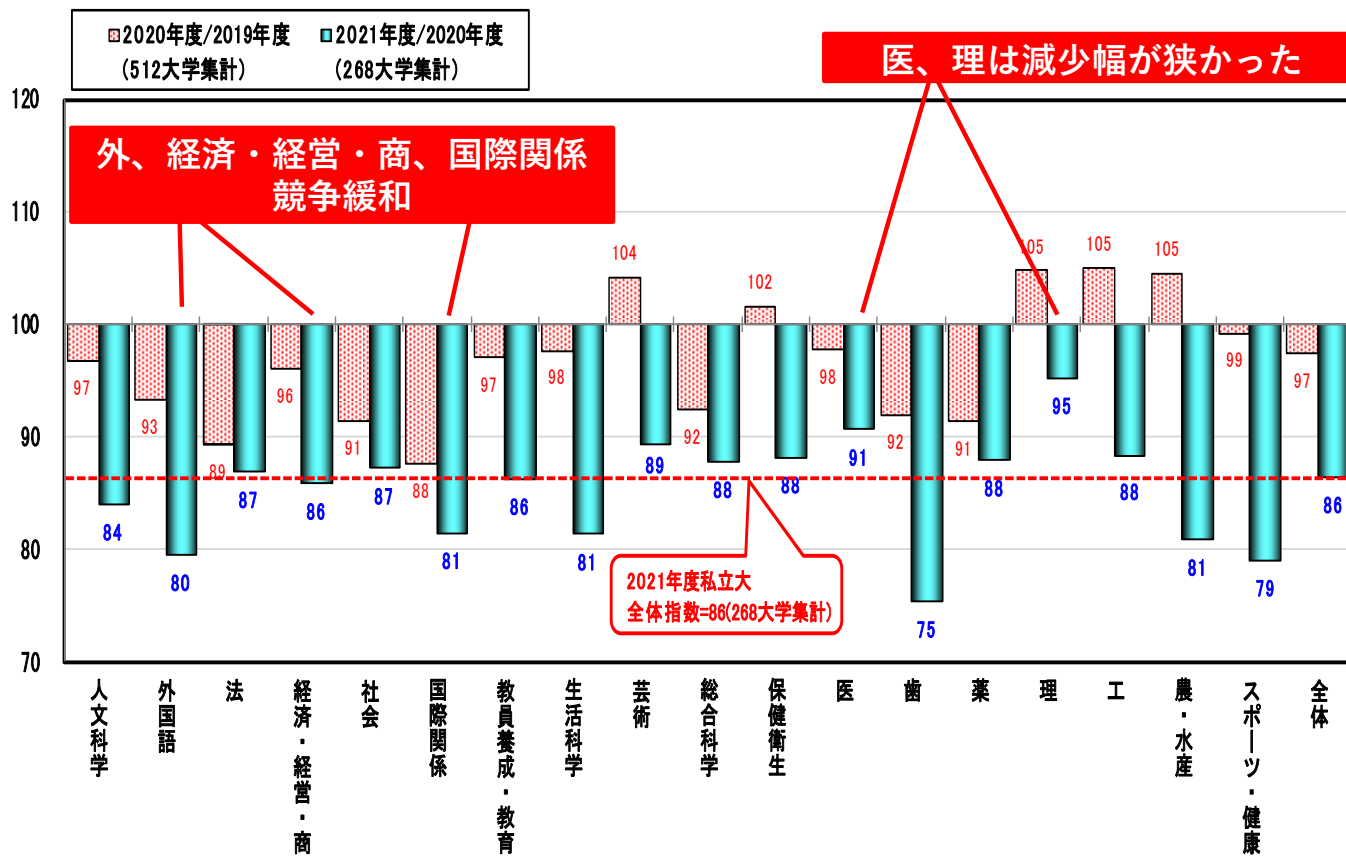
◆私立大学/一般選抜志願者数推移

■減少要因

- ①2020年度入試での大学入試改革への不安から弱気な出願による**既卒受験生**の大幅減少
- ②コロナ禍による**都市部**の大学の志願者数減少、**併願校数**減少
- ③共通テストへの不安から**共通テスト利用方式**の志願者数減少
- ④**文系**への人気低下が文系定員が大きい私立大に強く影響

①令和3年度大学入試概況

◆私立大学/系統別志願状況



①令和3年度大学入試概況

◆私立大学/志願者数の多い大学

順位	大学名	志願者数			
		2021年度	2020年度	増減	指数
1	近畿大	135,830	145,320	-9,490	93
2	千葉工業大	108,707	103,269	+5,438	105
3	明治大	99,470	103,035	-3,565	97
4	日本大	97,948	113,902	-15,954	86
5	早稲田大	91,659	104,576	-12,917	88
6	法政大	90,956	103,628	-12,672	88
7	東洋大	89,808	101,776	-11,968	88
8	立命館大	83,512	103,669	-20,157	81
9	関西大	79,511	87,625	-8,114	91
10	中央大	78,534	86,476	-7,942	91
11	立教大	65,475	61,308	+4,167	107
12	龍谷大	56,379	53,281	+3,098	106
13	東京理科大	49,301	56,355	-7,054	87
14	専修大	47,381	51,024	-3,643	93
15	同志社大	44,481	49,946	-5,465	89
16	東海大	44,316	56,285	-11,969	79
17	福岡大	44,072	52,112	-8,040	85
18	京都産業大	40,925	56,220	-15,295	73
19	青山学院大	40,123	57,822	-17,699	69
20	芝浦工業大	38,071	40,905	-2,834	93

コロナ禍
における
経済環境
悪化への
対策

①令和3年度大学入試概況

◆令和3年度入試の特徴

■ コンパクトな入試動向

- エリア(自宅近隣の大学)
- レベル(チャレンジしない&超安全志向もなくなる)
- 出願校数(受験校数を絞り込んだ受験)

■ 保守的な入試動向

- 大きな入試改革を嫌う(共通テスト、私立大新型入試)
- 過剰なコロナ対策も嫌う(共通テストのみへの変更
＝過去の合格ラインがわからないことへの恐怖感)

■ 経済的な入試動向

- コロナ禍による経済状況の悪化による自宅通学志向
- 受験料減免の効果による志願者数増加
- 学費が高額な設置・系統への人気低下

①令和3年度大学入試概況

◆本校の概況

- ・大学入学共通テスト(900点満点)平均点
文系616.1点(全国平均552点 +64.1点)
理系619.2点(全国平均572点 +47.2点)
- ・初めての共通テストで不安感のあるなかでも、卒業生たちはしっかりと得点できた者が多かった。
- ・現役の国公立大学合格者は**135名**であった。
中期と後期での合格が30名。
最後まで諦めず努力をした成果があらわれた。

①令和3年度大学入試概況

◆本校の概況

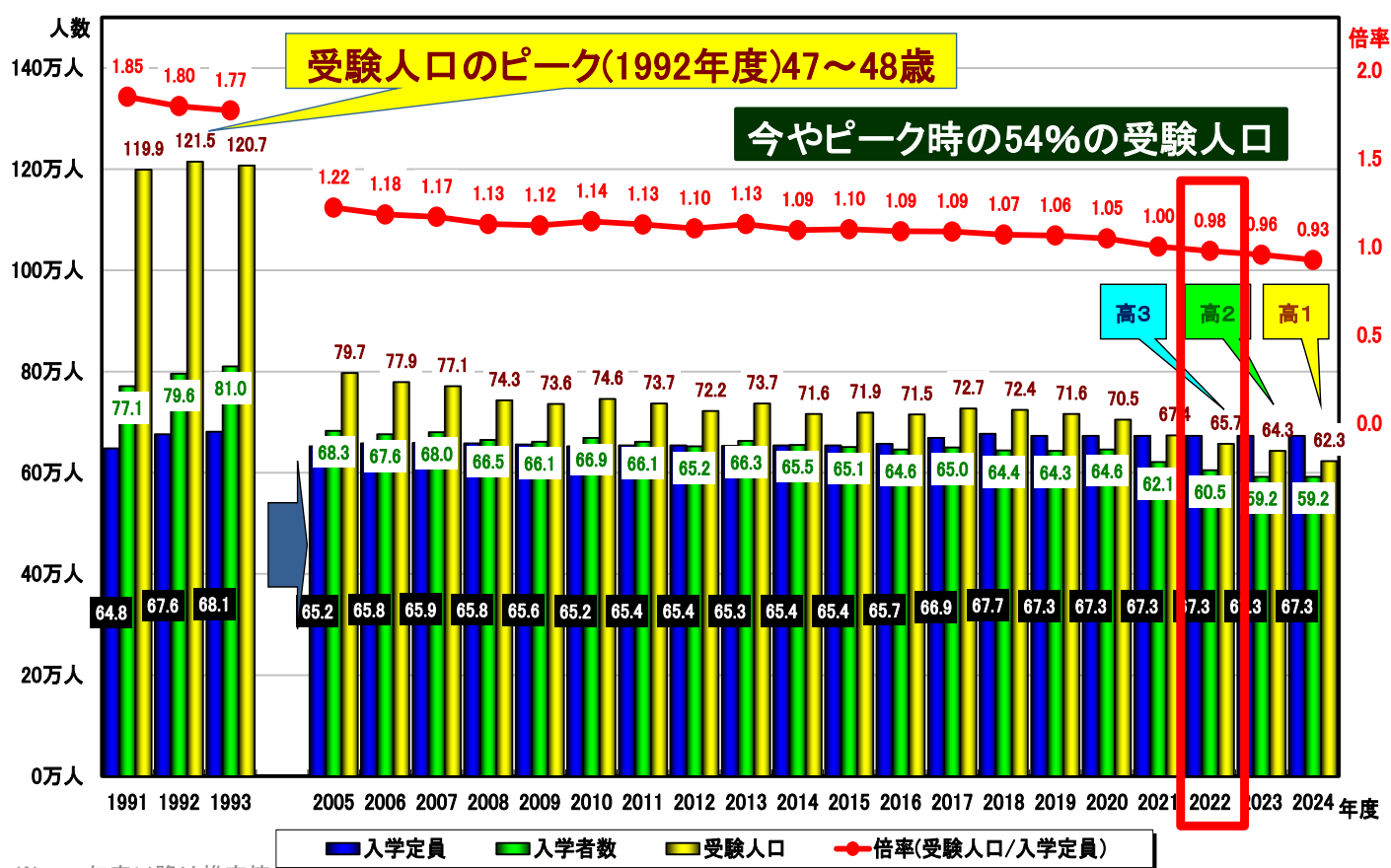
- ・難関国立10大学合格者は**22名**。最難関の東大に14名、京大に6名の計20名が受験し、合格者は東大2名、京大4名であった。多くの卒業生が第一志望をめざし諦めることなく最後まで受験と向き合ったことは立派だと感じます。
保護者の皆さまの協力のお陰です。
- ・地方国公立大学に目を向けて合格を得た者も多かった。
群馬大22名、埼玉大14名、高崎経済大9名、新潟大7名、など、自身のやりたいことや適性を考えて受験校を決定した生徒も多かった。

①令和3年度大学入試概況

◆本校の概況

- ・主な私立大については、早稲田大19名、慶応大11名、明治大33名、中央大38名でした。今年は文系生徒が数多くの合格を勝ち取っていた。入学定員の厳格化も落ち着いた印象である。受験科目が少なく複数受験できる私立大では積極的に難関大にも挑戦して欲しいと思います。

②令和4年度大学入試について



②令和4年度大学入試について

実質倍率は2021年度入試で私大入学定員厳格化「前」の水準へ

一般選抜 実質倍率の推移＜2015年～2021年＞

大学群	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
難関国立 10大学	2.7	2.7	2.7	2.8	2.7	2.5	2.6
首都圏 国公立大	2.8	2.8	3.4	3.2	3.2	3.0	2.8
早慶上理・ MARCH	4.1	4.2	4.8	5.5	5.0	4.8	3.8
日東駒専・ 成成明武	2.4	3.0	2.9	3.4	4.8	3.6	2.5
大東亜帝国・ 首都圏私立大	3.0	3.1	3.3	3.6	4.0	3.8	3.0

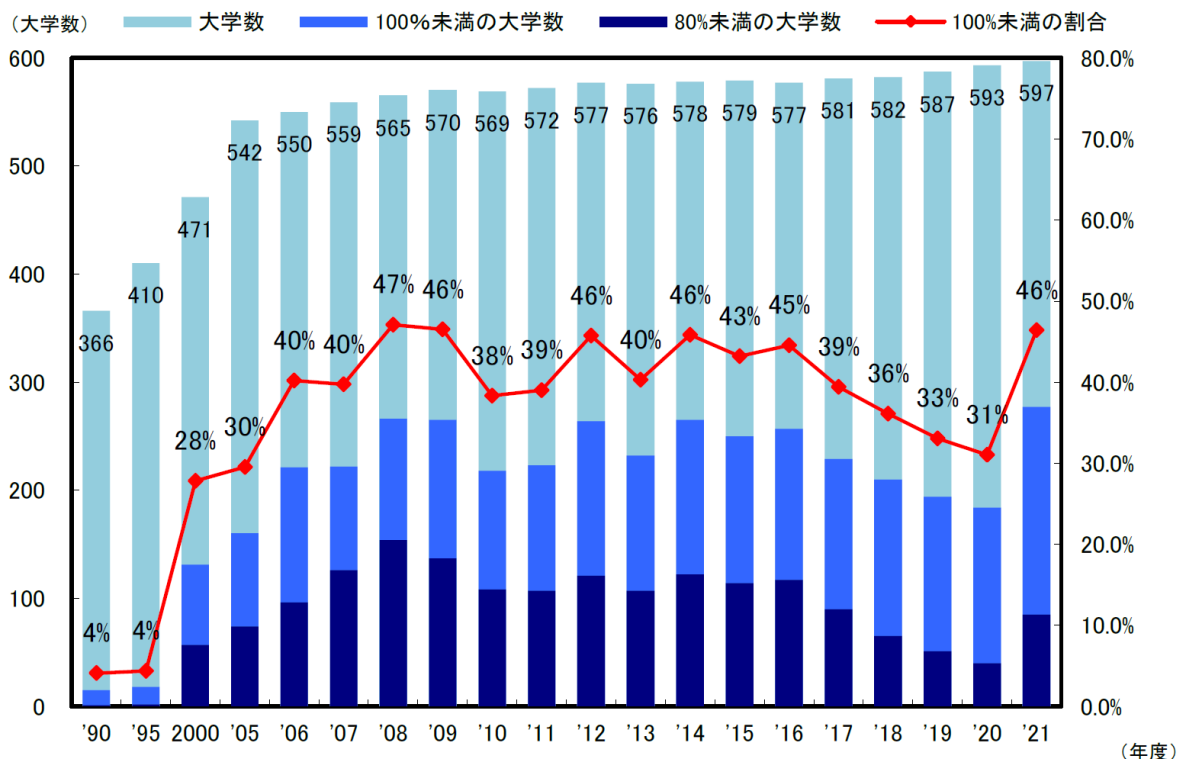
入学定員厳格化／
合格者数の段階的絞り込み

私大難化を受けて
出願数増加

新入試敬遠
安全志向

②令和4年度大学入試について

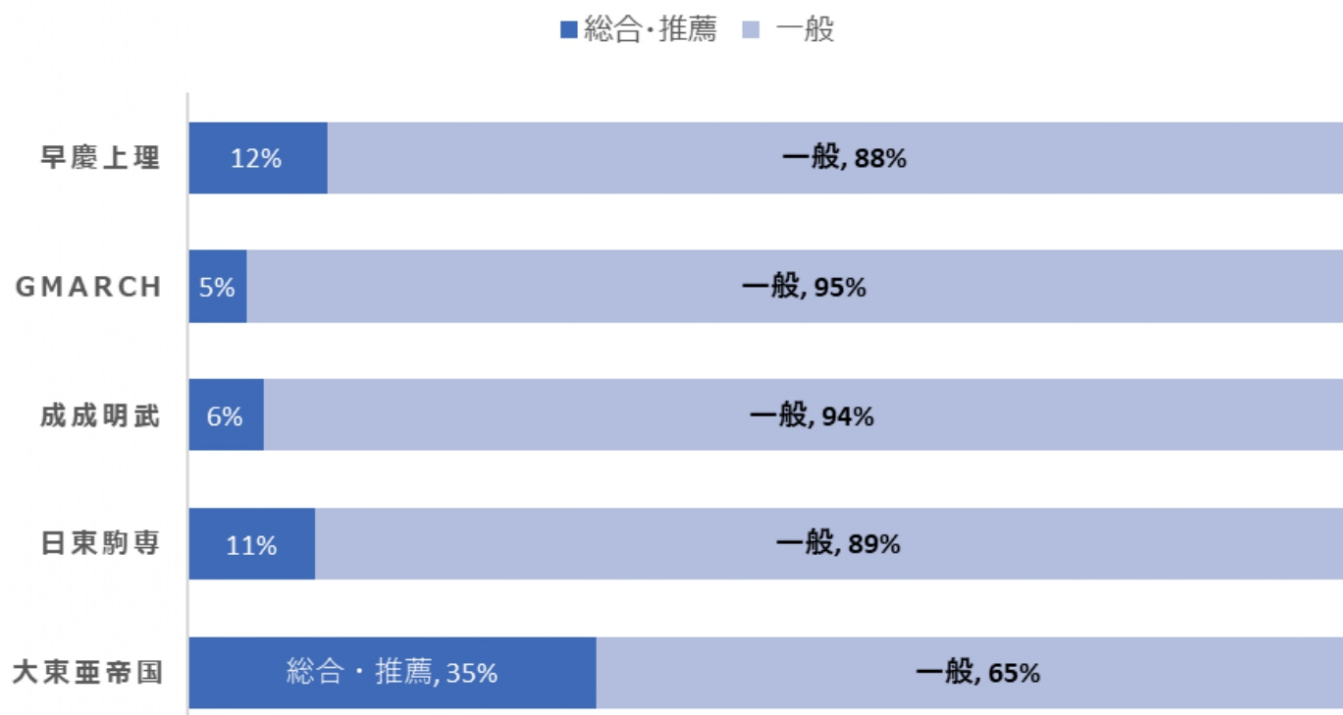
私立大 定員割れ学校数の推移



※ 10/1 新聞より

②令和4年度大学入試について

◆総合型、学校推薦型と一般選抜の割合



②令和4年度大学入試について

受験人口減少により競争緩和がさらに進む

- ・ 本校生が志望している大学は大きく変化しないと予想している。
- ・ 今後模試の結果等で受験科目数を減らしたり、志望を下げたりする受験生が増える傾向がある。
- ・ 保守的な出願傾向が強まれば、むしろ中堅大学の志願者が増加し志望を下げても合格できる可能性が上がるという訳ではない。
- ・ 早めに決めたいという保護者の動向が受験者に影響を与えることも多い。

②令和4年度大学入試について

新型コロナウイルス感染症に対する入試での配慮

- ・ 共通テストの追試験は本試験一週間後が通例。
ただし、今年度も2週間後になっている。
- ・ 国公立の出願期間も通例より2日延長。
- ・ 昨年度は共通テスト後に2次試験中止を発表する
国公立大があったなど、一部混乱を招いたため、
余程の感染状況である場合を除き、今年度の急な
変更はないと思われる。
- ・ マスク着用等は今年度も継続されるので、慣れて
おくことも大切。

②令和4年度大学入試について

学部の新設・再編の動きは活発

- ・ 大阪市立大と大阪府立大が統合して大阪公立大
- ・ 教員養成系学部の改組も目立つ。
※ 宮城教育大の芸術体育・生活系→総合型選抜のみ
※ 富山大と金沢大では共同教員養成課程を設置
(群馬大と宇都宮大と同様)
- ・ 私大でも新設・再編は多数あります。
- ・ 過去問やデータ等がないので志望動向が見えにくい
が志望が強い生徒にはチャンスがあると思える。

②令和4年度大学入試について

主体性評価、思考力・表現力評価を重視する動き

- ・面接、小論文を実施する大学が増加。
主に教員養成系、医療系の学部で導入が進んでいる。
- ・主体性の評価はコロナ禍の影響で活用を見送る大学が多いが、今後順に増えていくと考えられる。
- ・名古屋大(農学部前期)で2次試験で新たに国語を課すなど、理系学部の文章力や経済系学部の計算力を評価する傾向が広がっている。
- ・英語外部試験の活用は私大を中心に拡大している。

③第一志望合格に向けて

◆併願計画が大切

- ・第一志望合格には併願計画が大切
 どういった大学を受験するか
 どの日程でどの順番で受験するか
 各大学の受験科目と問題傾向は理解しているか
 合格した場合の振込期限はいつか ……他

※ 詳しくは後半の文理別説明会にて

「合格してもいけないから」ではなく

「第一志望に合格するために必要な受験」

③第一志望合格に向けて

◆親子での話し合いが大切

- ・ 実は孤独に悩んでいるご子息も多い
- ・ お互いの立場に立って、一緒に考える姿勢が大切
- ・ 「見守り」、「信頼」、「適切なアドバイス」
- ・ SNS等での噂に惑わされない
⇒正しい情報を得る
- ・ 不明なことは担任や学年主任等にご相談ください
- ・ 12月に予定通り3者面談を実施します
私大については出願校を決めたいと思っています

③第一志望合格に向けて

◆保護者の皆さまに少しでも気遣って欲しい事

- ・ 結局規則正しい生活が一番重要
4つの時間を固定させる(4点固定)
 - ① 起きる時間 ② 勉強開始時間
 - ③ 就寝時間 ④ 食事の時間
 ⇒ご子息に合った生活スタイルを確立する
⇒心と時間に余裕を持たせたい
- ・ 健康第一
- ・ 費用等についても遠慮せず、でも少し気を遣って話をして欲しいと思います

31

③第一志望合格に向けて

◆第一志望をゆずらない

- ・全国的には今年度も「安全志向」と「弱気の出願」、「再受験生の減少」が続くと思われます
- ・強気の出願が第一志望合格のチャンスです
- ・受験なくして合格はありません
- ・志望がぶれると学習にも影響します
- ・模試の結果で一喜一憂しない
- ・現役生は最後の最後まで学力は伸びます
- ・保護者が先に弱気になってしまわない

32

③第一志望合格に向けて

◆第一志望をゆずらない

- ・受験に100%の正解はない
『ある種の開き直り』と『保護者の覚悟』
保護者が覚悟を決めると無敵です！
- ・（結果でなく）努力をほめることができるのは
保護者だけだと思っています

大学入試はご子息が大人になる
最良の機会とタイミング

夢は大きく 志は高く！

「太高プライド」を持って最後の最後まで
で努力するご子息を保護者の皆さまと
一緒に最後の最後まで職員一同でサ
ポートしていきます。
今後ともよろしくお願いいたします。



ご視聴ありがとうございました